

新酒田市総合計画の策定について

1. 策定の基本方針

総合計画に記載すること ⇒ 「未来会議WSや審議会での市民からの意見を受け、10年後あるべき市の姿、その実現のために取り組むべきこと」

① 市民共有の指針としての計画

- 総合計画未来会議・総合計画審議会での「対話」を通じ、真の意味で**行政・市民共有の指針**としての計画とする。
- 計画内では行政の役割・市民の役割を明確にし、共にその計画を推進する。

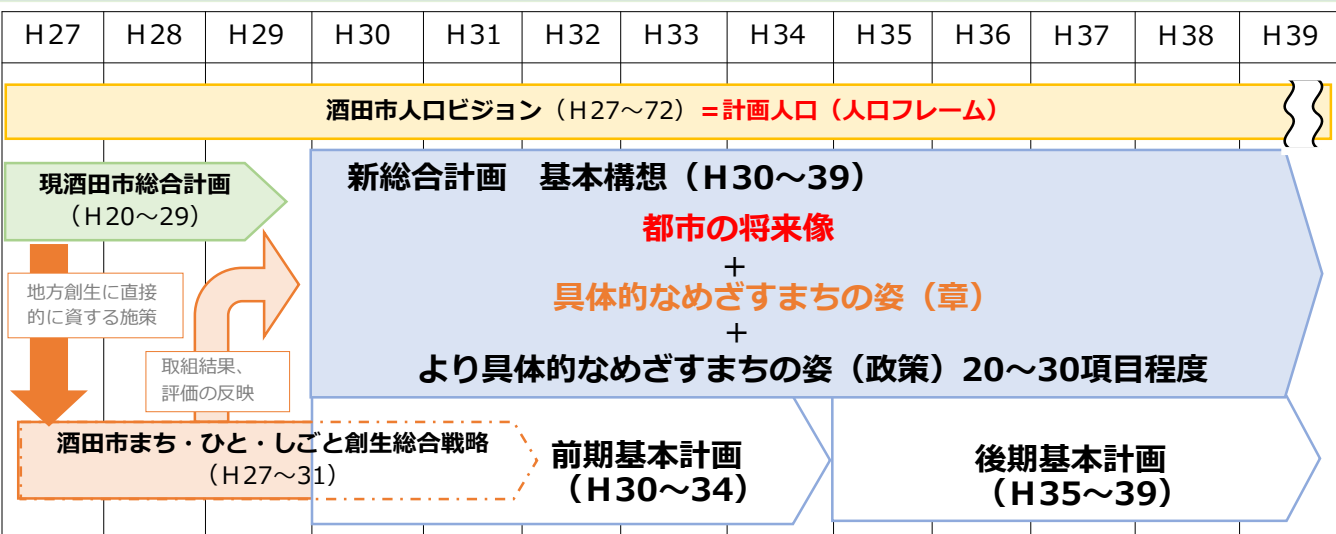
② 目的・手段を明確にした計画

- 従来型の体系別（分野別）の計画ではなく、**目的別**に章立てし、その手段としての施策や取り組みの方向性を基本計画として策定する。できる限り、**既存計画とのつながりを明確**にしながら、計画期間内に特に重点的に取り組むべき内容を記載していく。

③ 酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を深化させた計画

- 少子高齢化社会の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるために取り組むべき政策目標・施策をまとめた「**酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（H27策定）**」の方向性や施策を取り込んだ計画とする。

2. 総合計画の概要（基本構想）



具体的な目指すまちの姿

「〇〇な酒田にしたい、ありたい。」という市民の想いをふまえたもの = 「章」

- 第1章. 未来を担う「人材」が豊富な酒田（ひとつくり）**
- 〇「協働」のまちづくりのための「市民参画」の推進【市政情報発信（情報公開）、未来会議（広聴の充実）】行政運営
 - 〇大学まちづくりによる人材育成【公益大と連携した人材育成、市、公益大、光陵高校の3者連携・高校連携】行政運営
 - 〇「協働」のまちづくりに向けたプロフェッショナルな人材づくり【地域共創コーディネーター等】
 - 〇市民みんなの「酒田愛」を育む【ふるさと休日、ジオパーク、酒田っ子はぐくみ事業等】教育・市民生活・観光
 - 〇明日を担う子どもたちの生きる力を育む 教育
 - 〇【「いのち」の教育、学力向上、家庭・学校・地域との連携、教育環境整備、開かれた学校づくり】
 - 〇世代を超えてまなびあい、生涯スポーツで明るく健やかに生きる 教育・市民生活
 - 〇【生涯学習、図書館、スポーツ、他都市との交流を通じた人材育成】
 - 〇歴史にはぐくまれた芸術・文化を活かす【芸術文化、歴史・文化遺産】教育・市民生活・観光

第2章. 域内経済が活性化し、「働きたい」がかなう酒田 ～地域産業がうるおい、質の高い雇用が確保される酒田でありたい～

- 〇賑わいのある商業の振興と創業の推進 産業
- 〇【産業振興センター、商店街支援、コワーキングスペース】
- 〇付加価値の高い工業の振興 産業
- 〇【事業立地（拡張）形態に合わせたオーダーメイド型支援】
- 〇“みなと”を活かした物流機能の強化 産業・都市基盤
- 〇【港湾・庄内空港】
- 〇雇用の安定と働きやすい環境づくり 産業
- 〇【ワークライフバランス、地元就職拡大 等】
- 〇夢があり、儲かる農業にする 産業
- 〇【担い手育成、六次産業化、輸出促進】
- 〇100年続く酒田の森林を造る【林業】 産業
- 〇豊かな酒田の海づくり【水産業】 産業

第5章. 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田 ～安全・安心にあふれた豊かな暮らしをしたい。みんなが助け合い、支えあう地域でありたい。～

- 〇それぞれの力を最大限に引き出した地域運営 地域
- 〇【自治会、コミ振、市民活動支援、小さな拠点】
- 〇「全員参加」による美しい景観と環境づくり 市民生活
- 〇【ごみ、環境、景観、公園緑地】
- 〇地域と連携した安全なまちづくり 防災・市民生活
- 〇【防災、耐震化、空き家、交通安全、市民相談】
- 〇健康長寿でいつまでも活躍できるまちづくり 健康福祉
- 〇【健康寿命、地域包括ケア、地域医療】
- 〇持続可能な地域公共交通 地域・市民生活
- 〇【地域公共交通】

第3章. サポーターが多く、移住者・定住者・観光客が増える酒田 ～酒田の素晴らしさを内外に発信し交流を広げていきたい～

- 〇総合的な移住・定住対策 交流・情報発信
- 〇【移住・定住対策、生涯活躍のまち構想 等】
- 〇効果的なシティプロモーションと交流の拡大 交流・情報発信
- 〇【情報発信強化、ふるさと納税、北前船交流、オリパラホストタウンの取組み、他都市との経済的交流 等】
- 〇酒田らしい観光の充実と何度も来たくなるおもてなしの推進 観光
- 〇【中長期観光戦略ベース、クルーズ船、市民会議】
- 〇“みなと”を活かした交流の促進 産業・交流
- 〇【酒田港、庄内空港、光の湊による駅前開発（中活）】

第6章. 都市機能が強化され、賑わいがあるまち酒田 ～まちに賑わいを取り戻し、持続可能なまちをつくりたい～

- 〇「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくり 都市基盤
- 〇【立地適正化計画 地域公共交通（再掲） 等】
- 〇中心市街地の活性化 都市基盤
- 〇【中心市街地活性化計画の推進 等】
- 〇交流の基盤となるインフラ整備への機運醸成 都市基盤
- 〇【鉄道高速化、高速道路】
- 〇持続可能な生活インフラの構築 都市基盤
- 〇【社会資本マネジメントの推進】
- 〇【更新すべきインフラの選別、再配置（ダウンサイジング）長寿命化、広域連携・官民連携の検討】

第4章. 一人一人のライフスタイルが尊重される酒田 ～誰もが充実した生活を送れる酒田でありたい～

- 〇結婚・妊娠・出産から子育てまでのライフステージに応じた支援 健康福祉
- 〇【婚活支援・子育て支援・ネウボラ・発達支援】
- 〇誰もが活躍できるまちづくり 市民生活
- 〇【男女共同参画、女性活躍・在住外国人支援】
- 〇誰もが住みよい福祉のまちづくり 健康福祉
- 〇【高齢福祉、障がい福祉、保健師活動機能強化】

最終章. これらを達成するための行財政運営

- 〇市民の満足度を高める効率的・効果的な行財政運営と質の高い窓口対応 行政運営
- 〇【アセットマネジメント、行財政改革推進、各種窓口業務、定住自立圏、業務改善、広域行政、財政フレーム】

4章～5章は密接に関連。特に議論が必要な部分。

今後、審議会や市役所内部での議論を経ながら、柱立て等を検討していく。

§ 基本構想

都市の将来像（めざすまちの姿） ↓ 未来会議、審議会等で多く出されたキーワードを3～4つ程度にまとめて短文で表現

<p>「湊」「港」「産業」「交流」「広域連携」「仕事」</p> <p>例) 酒田港を最大限に活かした産業交流都市酒田</p>	<p>「安全安心」「防災」「環境」「住んでて良かった」「住みやすさ」「地域交通」</p> <p>例) 誰もが暮らしやすい「ちょうどいい」都市酒田</p>
<p>「人」「対話」「つながり」「変化」「協働」「地域」「公益」「挑戦」「市民参画」「コミュニティ」</p> <p>例) 「対話」を重視し、市民参画にあふれた協働のまち酒田</p>	<p>「歴史・伝統・文化」「食」「自然」「景観」「酒田だけの魅力」「情報発信（PR）」「酒田愛」</p> <p>例) 歴史文化に育まれた地域資源をみんなが好きになって積極的に発信していくまち酒田</p>

参考：人口ビジョン 目指すべき将来の方向性
①転出せずに「住み続けたい」、転出しても「戻りたい」、住んだことがなくても「住んでみたい」と思える酒田にする、②若い世代の結婚・出産子育ての希望をかなえる

上記を総括したコンセプト・キャッチコピー

（例）『行ってみたい・働きたい・住み続けたい。誰にも愛されるまち酒田』『市民力で未来を切り開く酒田』『人材と風土が支える産業・交流都市酒田』

都市の将来像、コンセプトについては、今後、ビジョン検討委員会(仮)において検討していく。総合計画審議会委員から6名程度選出しつつ、職員PTも加える予定。

総合計画の策定に向けたスケジュール（想定）

年	月	庁内の動き	総合計画審議会	総合計画未来会議	議会	その他
28 年度	6月	○6/15 総合計画策定職員作業班 (プロジェクトチーム) 会議 ※12月まで計13回実施	○6/17全体会・諮問 ・市民参画に関する講演	○6/18 第1回 ・総合計画市民参画アドバイザー 講話「市民参画の必要性」 ・ワークショップ「まわりからうらやましがられる未来の酒田」	状況報告	
	7月		○7/21全体会 ・未来会議報告 ・10年後を見据えて重要と考える視点	○7/31 第2回 ・酒田の「あんべわりの～」 「いいの～」		↑ 市民大学 ↓
	8月	○「現状と課題」の作成(各課)		○8/28 第3回 ・まちづくりシミュレーション ゲーム「S I M2030」		
	9月				状況報告	
	10月	○「現状と課題」に関する各課等との ヒアリング (今後あるべき姿、そのための手段)		○10/8 第4回 ・酒田の○○(特定のテーマ)の「いいの」「あんべわりの」		
	11月	○「現状と課題」取りまとめ	○11/24～12/5各部会 ・現状と課題について ・未来会議報告	○11/19 第5回 ・酒田の未来新聞をつくらう		
	12月					
	1月		○審議会委員全員へのインタビュー			
	2月	○2/6新総合計画柱立てに関する各部課 とのヒアリング ○2/16 総合計画本部会議 (現在の基本構想案について)	○2/22、24 各部会 ・基本構想の構成について ・インタビュー結果について		状況報告	
	3月		○3/14、23 都市の将来像(ビジョン)検討委員会	○3/24 番外編 ・28年度の未来会議ふりかえり ・参加者交流会		
29 年度	4月	○中旬～5月上旬 各課との意見交換	○4/6 都市の将来像(ビジョン)検討委員会			
	5月	○5/8 推進本部会議 ・現計画の評価 ・基本構想案 計画骨子 (サンプルを提示)	○5/17 総合計画審議会 ・現計画の評価 ・計画骨子 ・基本構想案	○5/14 第1回未来会議 ・導入、進め方説明 ・都市の将来像(案) 現時点のあなたの「イチオシ政策」は	○下旬 総務協議会(勉強会) ・現計画の評価 ・基本構想案 ・計画骨子	4～6月で集中的に 計画原案を策定。
	6月	○下旬 推進本部会議 第1次原案 (全体がでそろイメージ)	○下旬 各部会 ・基本計画第1次原案			
	7月	○未来会議、推進本部会議、審議会(部会)で、 それぞれ議論の内容を報告し、案をブラッシュ アップしていく。 (適宜、審議会部会・推進本部会議を開催予定)		○7/8 第2回未来会議 ・第0章 意見交換		
	8月			○7/30 第3回未来会議 ・第0章 意見交換		
	8月			○8/19 第4回未来会議 ・第0章 意見交換	○下旬 総務常任協議会 ・進捗状況報告(第1次原案)	
	9月	○下旬 推進本部会議 第2次原案	○下旬 全体会 ・基本計画第2次原案			
	10月			○10/7 第5回未来会議 ・第2次原案のリアルパブコメ	○市議会議員選挙	○第2次原案に対する 市民アンケートの実施
	11月	○中旬 本部会議 総合計画案の決定			○下旬 勉強会 or 全員協議会 ・策定経過報告 ・総合計画案	
	12月					
	1月					○パブコメ
	2月					
	3月			○3/24 第6回未来会議 ・市民参加型まちづくり計画のつくり方シンポジウム	○3月定例会での議決	